



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 檜垣 仁志
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5545-0703

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	62,367	4.5	2,421	0.4	2,548	4.0	1,827	0.1
2023年3月期第1四半期	65,282	11.6	2,432	68.2	2,654	66.2	1,828	55.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,028百万円 (2.0%) 2023年3月期第1四半期 2,069百万円 (131.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	170.48	
2023年3月期第1四半期	170.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	146,589	47,907	33.1
2023年3月期	146,301	46,966	32.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 48,497百万円 2023年3月期 47,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				100.00	100.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	10.2	8,500	4.9	8,500	3.9	6,000	3.8	559.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Ocean's Kitchen Property Management LLC 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	10,928,283 株	2023年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	211,676 株	2023年3月期	211,655 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	10,716,618 株	2023年3月期1Q	10,750,055 株

注) 当社は業績連動型株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には当該信託口が保有する当社株式が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことにより、経済活動に持ち直しの動きがみられた一方で、円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

水産・食品業界におきましては、インバウンド消費の復活などにより、外食・観光産業の需要回復が本格化してきたものの、生産面では原材料価格の高騰や原油価格の高止まり、輸送費の上昇などにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、中期経営計画『Build Up Platform 2024』（2021年度～2023年度）の最終年度として、『経営基盤の強化を図りながら、「事業課題への継続的取組み」と「持続的成長への挑戦」を柱とする戦略を進め、社会と極洋それぞれが共有すべき価値を創造していくことで、新たな成長への礎となる「高収益構造への転換」を目指す。』という基本方針のもと、目標達成に向け取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は623億67百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は24億21百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益は25億48百万円（前年同期比4.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億27百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）Ⅱ当第1四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①水産事業セグメント

昨年来の欧米での景気減速を受けて、世界的に水産物市況は不透明な状況が続いています。国内販売においては、コロナの規制が大幅に緩和され、業務ルートの需要は復活したものの、相場の不透明感が強く流通各社が必要な量の買付けに徹したことから、売上は前年同期を下回りました。利益については、加工品の価格改定が進み計画並みを確保しましたが、相場がほぼ全面高となり高収益を計上した前年同期は下回りました。

海外事業については、円安を背景に、ホタテやマグロなどの輸出販売は順調に推移しましたが、北米の現地販売は、物価高騰を受けた消費低迷により落ち込みました。

この結果、売上・利益とも前年同期を下回りました。水産事業セグメントの売上高は297億8百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益は11億74百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

②生鮮事業セグメント

寿司種をはじめとする生食商材は、一部で値上げによる販売減少があったものの、価格改定が浸透し、収益は大きく改善しました。マグロは、冷凍品全般に相場が下降トレンドで売上は減少したものの、利益率が改善され、収益は堅調に推移しました。養殖事業については、出荷は計画通りに推移したものの、飼料費などの増加が収益を圧迫しました。海外まき網事業は、カツオの魚価は上昇したものの、水揚げ量の減少と燃料費の増加により、利益は減少しました。

この結果、売上は前年同期を下回りましたが、利益は前年同期を上回りました。生鮮事業セグメントの売上高は160億33百万円（前年同期比15.3%減）、営業利益は6億69百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

③食品事業セグメント

業務用冷凍食品は、価格改定が定着するとともに、外食・産業給食ルートの回復により、水産フライなどの売上が伸長しました。市販用冷凍食品は煮魚・焼魚や、フライ製品などの弁当用商材が好調に推

移しました。冷凍食品の収支面では、価格改定と自社工場製品の拡販施策により大きく改善しました。

缶詰は、不漁によるサバ缶の供給量減少の中、イワシ缶の売上は伸長したものの、値上げによる消費減退もあり、全体として販売は減少しましたが、利益は改善しました。おつまみ・珍味製品は価格改定の効果があり、売上・利益とも増加しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。食品事業セグメントの売上高は161億46百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は8億41百万円（前年同期比233.4%増）となりました。

④物流サービスセグメント

冷蔵倉庫事業においては、庫腹率が高い状態が続いたことで保管料収入が増加し、利用運送事業では、外部取引先への営業強化に努めた結果、売上が拡大しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。物流サービスセグメントの売上高は3億81百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は59百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億88百万円増加し、1,465億89百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億49百万円増加し、1,149億52百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億61百万円減少し、316億36百万円となりました。

負債合計は、未払金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億53百万円減少し、986億81百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億41百万円増加し、479億7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は33.1%（前連結会計年度末比0.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しては、2023年5月12日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,050	9,027
受取手形及び売掛金	33,079	29,650
棚卸資産	63,886	68,737
その他	10,196	7,547
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	114,202	114,952
固定資産		
有形固定資産	18,912	18,812
無形固定資産	348	513
投資その他の資産		
投資有価証券	10,134	10,020
繰延税金資産	1,454	907
その他	2,845	2,978
貸倒引当金	△1,597	△1,596
投資その他の資産合計	12,837	12,310
固定資産合計	32,098	31,636
資産合計	146,301	146,589

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,563	12,532
短期借入金	23,783	23,504
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	2,091	334
引当金	1,021	580
未払金	8,261	5,359
その他	6,228	7,232
流動負債合計	64,950	64,543
固定負債		
長期借入金	29,816	29,645
引当金	414	408
退職給付に係る負債	3,909	3,855
資産除去債務	16	16
その他	226	211
固定負債合計	34,383	34,137
負債合計	99,334	98,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,330	1,330
利益剰余金	37,317	38,067
自己株式	△575	△575
株主資本合計	43,736	44,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,704	3,609
繰延ヘッジ損益	△72	129
為替換算調整勘定	470	546
退職給付に係る調整累計額	△296	△274
その他の包括利益累計額合計	3,805	4,010
非支配株主持分	△575	△589
純資産合計	46,966	47,907
負債純資産合計	146,301	146,589

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	65,282	62,367
売上原価	57,051	53,945
売上総利益	8,231	8,421
販売費及び一般管理費	5,798	6,000
営業利益	2,432	2,421
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	72	80
持分法による投資利益	50	25
為替差益	188	88
その他	84	107
営業外収益合計	395	302
営業外費用		
支払利息	104	150
訴訟損失引当金繰入額	2	2
貸倒引当金繰入額	40	-
その他	26	22
営業外費用合計	173	175
経常利益	2,654	2,548
特別利益		
固定資産処分益	-	0
受取和解金	-	73
特別利益合計	-	74
特別損失		
固定資産処分損	0	2
減損損失	0	2
災害による損失	2	-
特別損失合計	3	5
税金等調整前四半期純利益	2,650	2,617
法人税、住民税及び事業税	600	299
法人税等調整額	216	496
法人税等合計	817	795
四半期純利益	1,833	1,821
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,828	1,827
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△5

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△390	△95
繰延ヘッジ損益	439	201
為替換算調整勘定	163	77
退職給付に係る調整額	23	22
その他の包括利益合計	235	206
四半期包括利益	2,069	2,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,062	2,032
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産事業	生鮮事業	食品事業	物流 サービス	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	31,639	18,940	14,293	318	90	65,282	—	65,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,033	764	2,148	270	370	8,587	△8,587	—
計	36,673	19,704	16,442	589	461	73,869	△8,587	65,282
セグメント利益	1,847	578	252	49	41	2,768	△336	2,432

(注) 1. セグメント利益の調整額336百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用358百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産事業	生鮮事業	食品事業	物流 サービス	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	29,708	16,033	16,146	381	97	62,367	—	62,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,807	1,652	2,663	280	418	10,822	△10,822	—
計	35,516	17,686	18,809	662	515	73,189	△10,822	62,367
セグメント利益	1,174	669	841	59	53	2,798	△376	2,421

(注) 1. セグメント利益の調整額376百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用416百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、セグメント区分を変更しております。これに伴い、従来「水産商事」、「食品」、「鯉・鮪」、「物流サービス」、「その他」としていたセグメント区分を、「水産事業」、「生鮮事業」、「食品事業」、「物流サービス」、「その他」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。